

PRESS RELEASE



2022年4月1日
発信No.202201

<優れた独創的研究>を行う若手研究者に授与される「木原財団学術賞」の
記念すべき第30回の受賞者を発表！

資源が循環する社会
の実現を目指して

「植物における器官形成のメカニズムを解明」した研究に！
理化学研究所 杉本 慶子氏

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団(理事長 大野泰雄)では、第30回木原記念財団学術賞の受賞者を決定しました。(4月1日公表)

今回の受賞者は、植物の器官形成・再生の分子機構の解明に大きな成果を挙げられた杉本慶子氏(50歳)です。

受賞者



氏名:杉本 慶子 (すぎもと けいこ) 氏

所属:国立研究開発法人理化学研究所
環境資源科学研究センター

役職:チームリーダー

授賞課題

「植物の器官形成を司る分子機構の解明」

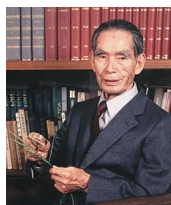
木原財団学術賞は、生命科学の分野で優れた独創的研究を行い今後のさらなる発展が大きく期待される若手の研究者(50歳以下)を対象としています。大きな特徴は「独創的研究」「対象とする研究課題で著名な賞をうけていないこと」。

光が当たりづらい、独創的な基礎研究を貫き突き進む研究者を励ますことを目的としています。

開始:1992年 応募方法:他薦

賞の内容:原則として毎年1名、賞状、賞金、記念牌を贈呈

木原記念財団



ゲノム説を確立し世界的な業績を残された遺伝学者で、オリンピック選手団団長※を2回務めた、故木原均博士を記念し、1985年3月に横浜で設立。ライフサイエンス分野を専門に、研究開発の支援や、ビジネス支援を非営利で行っています。 **一研究者・起業家と共に未来へ**

※第8回、第9回冬季オリンピック

(お問い合わせ先)

(公財)木原記念横浜生命科学振興財団 学術賞担当:鈴木、渡部

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6

TEL 045-502-4810 FAX 045-502-9810

e-mail: kiharagakujutsusho@kihara.or.jp

WEBサイトはこ
ちらから。



授賞理由 ※抜粋※

「多細胞生物がいかに細胞の増殖や分化を制御して特徴的な器官や個体をつくりだすか」という問いは、生物学における最重要問題のひとつである。杉本氏は、植物を材料に器官形成・再生を細胞レベルで解析し、その分子機構の解明に大きな成果をあげてきている。

葉、根などの植物器官は、茎頂と根端にある「メリステム」と呼ばれる分裂組織の細胞が活発に分裂することにより作られる。メリステムで生みだされた細胞は成長・分化する際に細胞周期を転換し、DNA複製だけを繰り返す核内倍加周期に移行する。杉本氏はこの細胞周期転換の制御因子、また細胞成長過程における核内倍化のブレーキ因子を発見し、器官形成における細胞増殖、分化の制御機構の一端を明らかにすることに成功した。

また、器官・個体再生の研究により、植物独自の個体再生の仕組みを明らかにした。

杉本氏によるこれら一連の研究により、個体再生における新たな課題にも光を当てることになり、今後の新展開が期待されている。また杉本氏は多くの国際誌の編集委員やEMBO Associate Memberを務め、Cold Spring Harbor Asia Conferenceを初めて日本に誘致するなど、若手研究者を国際研究ネットワークに組み入れることにも大きな貢献をしている。以上の理由から杉本慶子氏に第30回木原記念財団学術賞を授与することを決定※した。 ※学識経験者による選考委員会の議を経て財団理事会で決議

贈呈式・記念講演会は、8月以降に横浜で開催する予定です。

木原記念財団学術賞等 過去10年の受賞者一覧

受賞回	受賞者	受賞時の職位	研究課題
29	吉村 崇	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所教授	脊椎動物の季節適応機構の解明
28	北野 潤	国立遺伝学研究所 ゲノム・進化研究系教授	野生動物の表現型多様化の原因遺伝子の解明
27	佐藤 健	群馬大学 生体調節研究所 所長	受精における細胞内オルガネラ変換機構などの発見
26	鈴木 勉	東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授	RNA修飾の生物学的な役割の解明
25	東山 哲也	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授	植物受精において花粉管誘引を司る分子群の発見
24	前島 一博	国立遺伝学研究所・構造遺伝学研究センター教授	細胞内ゲノムDNAの折り畳み構造の解明
23	芦苺 基行	名古屋大学生物機能開発利用研究センター教授	イネの遺伝学研究による植物成長機構の解明と分子育種
23	水島 徹 (応用科学賞)	慶應義塾大学薬学部創薬科学講座主任教授	温故知新創薬研究基盤の確立と実践
22	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科 教授	神経幹細胞の運命を制御する分子機構
21	木下 哲	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学科 客員教授	植物生殖過程におけるエピゲノム制御と生殖隔離機構
21	永井 健治 (応用科学賞)	大阪大学 産業科学研究所 教授	蛍光タンパク質エンジニアリングに基づく革新的バイオイメージング技術の開発